

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	①	学校名	盲学校
----	---	-----	-----

1. 取組名 学校見学・体験会「いくナラ みるナラ 盲学校」

2. 活動内容

この取組は、地域の方々に、本校を気軽に見学いただいたり、日頃学習していることを生徒が伝えたりする機会とすることを目標にしています。前半は、生徒が校内を案内し、教科書や視覚補助具等について説明する時間に、後半は、参加者が6つの体験教室「①点字教室、②音声パソコン教室、③視覚障害者スポーツ（サウンドテーブルテニス）教室、④視覚障害体験教室、⑤手引き・白杖歩行教室、⑥あん摩実習体験教室」に分かれて体験し、本校の生徒が実演する時間にしました。

3. 成果と課題

前半の校内案内や教科書等の説明の場面では、緊張しながらも真剣に自分たちの言葉で伝えようとする生徒の姿がありました。参加いただいた方々からは「生徒さんの対応が素晴らしい」、「皆さん丁寧でやさしかった」、「廊下を歩いているときに、点字ブロックが2種類あったり、手すりがあったり、階段や十字路に別の床材を使ったり、いろんな変化や工夫で、いろんなことを伝えることができると知った」などの感想が寄せられました。後半の体験教室では、手引きや白杖歩行、あん摩の実演等を通して、参加者とふれあう機会となりました。「手引きの方法や視覚障害のある方の気持ちが分かった」、「とても丁寧に声かけや施術をしていただいた」などの感想がありました。障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会の形成と実現に向けて、両者が時間と空間をともにすることが貴重な機会となると思われれます。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

3年継続を予定していたこの取組の3年目を終えました。地域の方々の参加が毎年たくさんあり、本校や視覚障害者の生活などについて知っていただけたと思います。また、生徒の主体的な取組にもなり、一定の評価ができると考えています。来年度はこの取組を一旦休止し、学校の啓発や地域とつながる機会としてどのような取組が可能かをより多様な視点から検討することを予定しています。

